



どう使われるの？ 私たちの大切なお金 ～平成18年度町の予算～

少子高齢化が著しいことから少子化対策、高齢者福祉対策とともに、働く世代の健康維持、病気の早期発見と予防に努めます。特に、健診事業に力を入れ、若い世代からの健康に対する意識の向上と病気の早期発見のための対策を進めます。

また、要介護状態にならないように介護予防事業を展開します。医療面では、医療費給付事業や町立病院の充実に努めます。その他、各種の補助や支援などとともに特別会計で事業展開に必要な経費を措置します。

主な事業	
・各種健診事業	7,652万円
・乳幼児医療費助成	2,160万円
・老人保険事業会計への繰出金	1億5,441万円
・介護保険事業会計への繰出金	2億2,273万円
・病院事業会計への繰出金	1億5,600万円
・国民健康保険事業会計への繰出金	1億286万円



すべての人が安心して暮らせるまちづくり

ゆめ 希望あふれ、 人と地域 が輝くまち



災害に強く犯罪のない、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

そのために、道路・公共交通機関の整備を進めながら周辺環境も整備していきます。

また、住民の生命・財産を守る消防や防災・救急体制を整備するとともに、多様化、多発化する犯罪に対応するために防犯環境の整備も図っていきます。

主な事業	
・交通安全施設設置工事	330万円
・防火水槽設置工事	2,700万円
・有明広域行政事務組合(消防)負担金	1億4,693万9,000円
・道路新設改良費	3億4,800万円



安全で快適に暮らせるまちづくり

農業面では、基盤整備を進めるとともに、消費者ニーズに対応した「安全・安心」な農作物のブランド化を進めながら担い手育成と営農組織の活動を支援していきます。

また、商工業の活性化を図るため、企業誘致や起業支援を積極的に進めていきます。観光面では、自然資源と歴史資源を地域の暮らしや文化などと組み合わせて観光PRをしていきます。

主な事業	
・新規就農者対策助成金	100万円
・団体営圃場整備事業	8,125万4,000円
・商工会補助金	950万円



活力と賑わいのあるまちづくり

和水町の美しい自然は、町民共有の財産です。これを後世に残すことは私たちの責務でもあります。この自然環境や生活環境を守るために、下水道整備や浄化槽の設置を推進することにより、生活環境の改善と併せて環境に優しいまちづくりを進めることができます。

主な事業	
・浄化槽設置補助事業	9,391万円
・ゴミ収集委託料	2,211万円
・下水道会計への繰り出し金	3,843万円



自然と共生する環境に優しいまちづくり

地方分権一括法の施行や地方自治法の改正などにより、国の持つ権限や財源の一部が私たちの暮らしに身近な県や市町村に移されました。

このことにより、地域の実情や地域住民の声を行政に反映させ、住民主体の個性豊かな活気にあふれる地域づくりを進めることとしています。

町では、真の地方分権を実現するために「自分達のまちは自分達の手で」という自治意識を高めるための取組みを進め、新たな自治組織の構築を目指します。

主な事業	
・振興計画策定事前調査事業	300万円
・まちづくり推進事業費	237万9,000円



分権社会に対応する自立したまちづくり

次代のふるさとを担う子ども達の教育環境を充実させるとともに、子ども達を犯罪や事故から守るため学校と家庭、地域が連携し、通学時などの見守り体制の充実を図っていきます。

また、町民が生涯にわたり学ぶことができるよう生涯学習の推進を図り、教養豊かな人材の育成のための取組みを推進します。さらに、地域の歴史文化遺産の保存や継承を通じて、地域への誇りと愛着を高める事業を展開します。

主な事業	
・菊水中央小学校プール濾過機取替工事及び下水道工事	888万3,000円
・緑小学校消防用配管取替工事	496万8,000円
・肥後古代の森樹木管理	1,206万円
・田中城跡災害復旧事業	1,547万円



明日を拓く人材が育つまちづくり